

オレんじ通信

オレんじ通信とは…

鳴門市認知症地域支援推進員の行っている支援活動や取り組み等を鳴門市民の皆さんにお伝えしていく広報です。



認知症
ともに暮らそう
この街で

認知症地域支援推進員とは…

皆さんは認知症になっても今の家で暮らしていることをイメージできますか。近年の高齢化により、鳴門市では 65歳以上の方の割合が30%を超えました。(平成 27年3月末現在)
日本全体で見ると、団塊の世代が 75歳を迎える2025年には、65歳以上の高齢者が約3500万人に達すると言われていています。
その中でも認知症の方の数は700万人を超えるとの統計も出ています。これは高齢者の5人に1人が認知症になる計算です。

このように認知症とは、特別な病気ではなく、誰もがなる可能性があるある病気なのです。このような状況の中で、認知症の人ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるような街を作っていく必要があります。その街づくりにおいて重要な役割を果たすのが、認知症地域支援推進員です。具体的には、認知症への理解を深める為の普及啓発や、認知症カフェの立ち上げ支援、認知症の人やその家族の支援を行うこと等があげられます。

推進員の会の様子



現在、鳴門市では 市役所に2名、基幹型地域包括支援センターに2名、地域包括支援センターに5名、社会福祉協議会に1名を認知症地域支援推進員として配置しています。推進員は毎月一度集まって、鳴門市の認知症施策について話し合っています。

認知症地域支援推進員による 認知症の普及啓発活

9月21日は

世界アルツハイマーデー



9月は世界アルツハイマー月間

1994年9月21日、スコットランドで行われた第10回国際アルツハイマー病協会において、認知症に関する認識を深め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的として会議初日『世界アルツハイマーデー』としました。日本各地でもアルツハイマー病の啓発の為に様々な活動がなされており、鳴門市でも昨年9月にキョーエイ鳴門駅前店にて、啓発グッズ配布、認知症サポーター養成講座と推進員による無料相談会を行いました。平成 29年4月には日本(国立京都国際会館)で第32回国際アルツハイマー病協会国際会議が行われます。



認知症地域推進員による無料相談会



啓発グッズ
チラシと鳴門金時



認知症サポーター養成講座

おおあさ
ジングルベル
マラソン

イベント
シリーズ
Vol. 1



昨年十二月に開催された大麻町ジングルベルマラソン大会。私たち、認知症地域支援推進員もイベントに参加しました。

今回のイベントでは認知症キャラバンメイト、認知症サポーターの方の協力もいただきました。走りに自信のあるメンバーがマラソンに参加し、認知症サポーターキャラバンマスケット「ロバ隊長」に扮して見事全員5キロメートルを完走しました。沿道の方々も暖かい声援を送ってください、ランナーの持つ幟を見て「アルツハイマーデーっていうのがあるんやな。」と関心をよせてくださった方も中にはいらっしやいました。我々推進員としても、少しでも市民の方に認知症への理解が広まると嬉しいです。また、啓発の一環として、沿道にて認知症に関するパンフレットを配りました。

今後もしもキャラバンメイトやサポーターと共にいろいろな形で啓発活動を行っていただければと思います。



当日の啓発風景

認知症地域支援推進員と認知症キャラバンメイトと一緒に走り、啓発活動を行いました。

認知症サポーター養成講座について

認知症サポーターとは：認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。養成講座で学んだ知識を友人や家族に伝えたり、認知症の人や家族の気持ちを理解しようとするのもサポーターの活動であり、特別に何かしなくてはならないということではありません。皆さんも日頃、認知症で困っている人や家族を目にする事があるかと思いますが、そんな時に「何かお困りですか？」と声を掛けて下さるだけでも家族は救われた思いがするのです。認知症地域支援推進員は、そんな地域で互いに支えあい、助け合えるような街づくりを推進していきます。そのため、今後も認知症サポーターを積極的に養成していきたいと思えます。まだ受講されていない方や認知症に興味のある方は、ぜひ鳴門市認知症地域支援推進員事務局（Tel 615・1417）までお問い合わせください。



市民向けサポーター養成講座



小学生向けに寸劇を披露

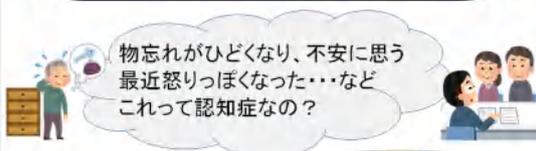
もの忘れに関する無料相談窓口

心療内科等への受診にためらいがある方等に気軽に相談してもらうことを目的として平成26年3月より、もの忘れに関する無料相談窓口を開設しています。認知症サポーター医や認知症の人と家族の会（徳島県支部）の相談員が対応しています。

ご本人やご家族の方、担当ケアマネジャーや民生委員等、住民の方などでも利用は可能となっております。相談に関するお問い合わせは鳴門市基幹型地域包括支援センター（電話番号615・1417）までご連絡ください。

○本事業は鳴門市介護保険 地域支援事業の一つです

「もの忘れ」に関する無料相談窓口



とき
毎月 第4水曜日 14時～16時
または
第2木曜日 9時～11時

お気軽に相談ください
ところ
☆鳴門市役所
本庁舎1階市民相談室

内容
認知症サポート医
または
認知症の人と家族の会相談員
との個別相談(20分)

鳴門市は「認知症地域支援推進員」を設置し、認知症対策に取り組んでいます

編集後記

昨年の9月より認知症地域支援推進員の定例会を開始して認知症地域支援推進員の活動の普及に努めています。今年度も、認知症への理解を深め、認知症の人と家族の会との連携を図ります。